第71期 計算書類

自 平成20年11月1日

至 平成21年10月31日

ゼネラルホールディングス株式会社

貸借対照表

(平成21年10月31日現在)

科目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	6,086,845	流動負債	6,937,615
現金及び預金	520,603	支 払 手 形	131
売 掛 金	6,300	短期借入金	6,335,000
貯 蔵 品	500	一年以内返済予定の長期借入金	500,000
短期貸付金	5,332,716	未 払 金	14,172
その他の流動資産	226,725	未払費用	49,970
固定資産	10,282,424	未払法人税等	8,052
有形固定資産	1,798,766	未払消費税等	9,271
建物	882,502	繰 延 税 金 負 債	528
構築物	820	前 受 金	11,577
機 械 装 置	28,625	預 り 金	4,854
車両運搬具	37	賞 与 引 当 金	4,057
工具器具備品	17,716	固定負債	2,285,017
土 地	869,063	長期借入金	2,250,000
無形固定資産	24,393	長期預り金	35,017
電話加入権	9,922	負 債 合 計	9,222,632
ソフトウェア	14,470	純資産の部	
投資その他の資産	8,459,265	株主資本	7,149,282
投資有価証券	504,702	資 本 金	301,000
関係会社株式	7,409,799	資 本 剰 余 金	4,569,721
出 資 金	12,070	資 本 準 備 金	4,569,721
関係会社出資金	63,778	利 益 剰 余 金	3,362,701
従業員に対する長期貸付金	6,116	利 益 準 備 金	306,431
関係会社長期貸付金	212,500	その他利益剰余金	3,056,270
繰 延 税 金 資 産	263,520	固定資産圧縮積立金	335,098
破産更生債権等	2,685	別 途 積 立 金	830,000
その他の投資	47,053	繰越利益剰余金	1,891,172
貸倒引当金	2,683	自己株式	1,084,139
投資損失引当金	60,278	評価・換算差額等	2,644
		その他有価証券評価差額金	2,664
		純 資 産 合 計	7,146,637
資 産 合 計	16,369,270	負債及び純資産合計	16,369,270

損 益 計 算 書 (平成20年11月1日から 平成21年10月31日まで)

科目	金	額
売 上 高		903,041
売 上 原 価		179,038
売上総利益		724,003
販売費及び一般管理費		409,376
営 業 利 益		314,627
営業外収益		151,715
受 取 利	息 104,813	
有 価 証 券 利	息 90	
受 取 配 当	金 6,681	
保険解約返戻	金 17,152	
その	他 22,978	
営業外費用		296,501
支払利	息 185,083	
匿名組合投資損	失 93,065	
その	他 18,352	
経 常 利 益		169,841
特別利益		115,260
貸倒引当金戻入	額 1,535	
固定資産売却	益 3,724	
投資有価証券売却	益 49,850	
関係会社清算	益 60,150	
特別損失		383,071
固定資産売却	損 38,876	
投資有価証券売却	損 52,608	
投資有価証券評価	損 15,121	
関係会社出資金評価	損 63,752	
投資損失引当金繰入	額 60,278	
事業再編費	用 145,613	
そ の	他 6,820	
税引前当期純損	失	97,970
法人税、住民税及び事業	税	49,720
法 人 税 等 調 整	額	588,098
当 期 純 利	益	440,408

株主資本等変動計算書

(平成20年11月1日から) (平成21年10月31日まで)

		株主		
	資 本 金	資 本	剰	金金
	以上, 中 立	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
前 期 末 残 高	5,028,307	4,569,721	196,681	4,766,403
当 期 変 動 額				
減 資	4,727,307	-	4,727,307	4,727,307
当期 純利益	-	-	1	-
自己株式の取得	-	-	•	-
自己株式の処分	-	-	7,533,989	7,533,989
合 併	-	-	2,610,000	2,610,000
固定資産圧縮積立金繰入額	-	-	•	-
固定資産圧縮積立金取崩高	-	-	-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-
当期変動額合計	4,727,307	-	196,681	196,681
当 期 末 残 高	301,000	4,569,721	-	4,569,721

				•	· ,
		株	主 資	本	
		利 益	i 剰 余	金	
		その	他 利 益 剰	余 金	刊光副合合合
	利益準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合 計
前期末残高	306,431	500,717	830,000	3,755,176	5,392,325
当 期 変 動 額					
減 資	-	-	-	-	-
当期 純利益	-	-	-	440,408	440,408
自己株式の取得	1	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	-	2,127,808	2,127,808
合 併	-	-	-	342,224	342,224
固定資産圧縮積立金繰入額	1	-	-	-	-
固定資産圧縮積立金取崩高	1	165,619	-	165,619	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	ı	-	-	-	-
当期変動額合計	-	165,619	-	1,864,004	2,029,624
当 期 末 残 高	306,431	335,098	830,000	1,891,172	3,362,701

					株主	資本	評価・換算 差 額 等	純資産合計
					自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
前	期	末	残	高	1,233,826	13,953,209	11,420	13,964,630
当	期	変	動	額				
	減			資	-	-	-	-
	当	期 純	利	益	-	440,408	1	440,408
	自己	株式	の取	得	1,351,814	1,351,814	ı	1,351,814
	自己	株式	の処	分	9,661,798	-	1	-
	合			併	8,160,297	5,892,521	ı	5,892,521
	固定資	産圧縮和	責立金繰	入額	-	-	1	1
	固定資	産圧縮和	責立金取	崩高	-	-	-	-
	株主資		外 の 項 額 (純	目 の 額)	-	-	14,065	14,065
当	期3	芝動	額合	計	149,686	6,803,927	14,065	6,817,992
当	期	末	残	高	1,084,139	7,149,282	2,644	7,146,637

個別注記表

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式……総平均法による原価法によっております。

その他有価証券

時価のあるもの………決算日の市場価格等に基づく時価法によっておりま す。評価差額は全部純資産直入法により処理し、売

却原価は総平均法により算定しております。

時価のないもの......総平均法による原価法によっております。

なお、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

2. 固定資産の減価償却方法

平成10年4月1日以後に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法、その他の有形固定資産については定率法、また無形固定資産については定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上方法

貸倒引当金………売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般

債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権及 び破産更生債権については個別に回収可能性を検討

し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金......従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当

事業年度負担額を計上しております。

投資損失引当金………関係会社への投資に係る損失に備えるため、当該会

社の財政状態等を勘案して必要と認められる額を計

上しております。

4. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

5. 重要な会計方針の変更

リース取引に関する会計基準等

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当事業年度より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

また、当該変更に伴う資産及び損益に与える影響はありません。

貸借対照表の注記

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

١.		
2.	関係会社に対する短期金銭債権	5,345,132千円
	関係会社に対する短期金銭債務	343,976千円
3.	有形固定資産の減価償却累計額	704,552千円
4.	有形固定資産の減損損失累計額	140,242千円
5.	担保に供している資産	
	売掛金	6,300千円
	建物	245,703千円

建物245,703千円土地42,275千円関係会社株式7,056,998千円合計7,351,227千円

上記担保に対応する債務

短期借入金 6,000,000千円 1年以内返済予定の長期借入金 500,000千円 長期借入金 2,250,000千円

合計 8,750,000千円

6. 保証債務

被保証会社名	保証金額	保証債務の内容
ゼネラルテクノロ	168,000 千円	事業譲渡に係る債務に対する保証
ジー(株)		
ゼネラル興産㈱	300,000 千円	銀行借入
ゼネラル興産㈱	12,168 千円	支払家賃等債務に対する保証
		(保証金額は月額家賃)
SIATI SRL	1,355,100 千円	銀行借入

損益計算書の注記

- 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 2. 関係会社との取引高

営業取引の取引高 748,519千円 営業取引以外の取引高 306,937千円

3. 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

工具器具備品2,187千円ソフトウェア1,536千円計3,724千円

4. 固定資産売却損の内容は、次のとおりであります。

建物49,830千円土地28,149千円その他17,195千円計38,876千円

株主資本等変動計算書の注記

- 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 2. 事業年度の末日における自己株式の数 A 種優先株式 99株

税効果会計の注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳 繰延税金資産(流動)

冰处,从业只压(加助)	
賞与引当金	1,647千円
その他	1,162千円
繰延税金資産(流動)小計	2,809千円
評価性引当額	102千円
繰延税金資産(流動)合計	2,706千円
繰延税金負債(流動)	·
未収事業税	1,962千円
固定資産圧縮積立金	1,272千円
繰延税金負債(流動)合計	3,235千円
繰延税金負債(流動)の純額	528千円
繰延税金資産 (固定)	
減損損失	54,065千円
投資有価証券評価損	139,345千円
投資損失引当金	24,472千円
みなし配当	291,078千円
投資有価証券譲渡益	17,001千円
繰越欠損金	207,626千円
その他有価証券評価差額金	1,807千円
その他	3,484千円
繰延税金資産(固定)小計	738,882千円
評価性引当額	244,933千円
繰延税金資産(固定)合計	493,948千円
繰延税金負債(固定)	
固定資産圧縮積立金	227,767千円
固定資産圧縮積立金特別勘定	2,661千円
繰延税金負債(固定)合計	230,428千円
繰延税金資産(固定)の純額	263,520千円
-	

関連当事者との取引に関する注記 子会社等

	会社等の	<i>\(\)</i>	資本金又	事業の	議決権等の 所有(被所	関係	内容	取引の	取引金額	110	期末残高												
属性	名 称	住 所	は出資金 (千円)	内容	有)割合 (%)	役員の 兼任等	事業上 の関係	内容	(千円)	科目	(千円)												
								その他資 本剰余金 からの配 当金受取		関係会社 株式	847,225												
								配当金の 受取	120,600														
							事 業 資	事業資金の貸付	354,067	短期貸付金	354,067												
							金の貸	貸付金利息の受取	1,838	-	-												
子会社	ゼネラルサ プライ(株)	東京都台東区	360,000	O A 関連商 品の販売	100	-	付 先 ・ 借入先 債 務 被	事業資金 の借入 借入金の		短期借入 金	-												
		口米区					保証	返済 借入金利	1,150,000														
							担 保 の 被提供	息の支払	13,536	-	-												
						当社の銀行 借入金に対 する債務被 保証(注5)	8,750,000	-	-														
							当社の銀 行借入金 に対する 担保提供 (注5)	3,360,759	-	-													
																				業務支援 料の受取	117,646	売掛金	3,150
								その他資 本剰余金 からの配 当金受取	3,999,999	関係会社 株式	4,627,773												
																			配当金の 受取	190,038			
					1				業務受託先	事業資金 の貸付	3,201,049	短期貸付 金	3,281,649										
							事業資	貸付金利 息の受取 事業資金	17,042		-												
子会社	ゼネラルテクノロジー	大阪市	360,000	O A 関連商 品の製造・	100		付 先 ・ 借入先	の借入 借入金の	1,525,000	短期借入	115,000												
丁云钍	(株)	城東区	360,000	販売	100	-	債 務 保 証	借入金利		未払費用	9												
							債務被保証 担保の	息の支払 事業譲渡 に係る債 務の保証			-												
								被提供	当社の銀行 借入金に対 する債務被 保証(注5)	0 750 000	-	-											
								当社の銀 行借入金 に対する 担保提供 (注5)	5,544,856	-	-												

属性	会社等の	住所	資本金又 は出資金	事業の	議決権等の 所有(被所		内容	取引の	取引金額	科目	期末残高									
n-9 1±	名 称	- <i>''</i>	(千円)	内容	有)割合 (%)	役員の 兼任等	事業上 の関係	内容	(千円)		(千円)									
								事業資金の貸付	-	短期 貸付金	1,697,000									
								貸付金の 回収	-	長期 貸付金	212,500									
							事業資金の貸	貸付金利 息の受取	48,536	-	-									
	ゼネラル興	十匹士					付 先 ・ 借入先	事業資金 の借入	170,000	_	-									
子会社	産株	大阪市 城東区	250,000	不動産業	100	兼務2名	業 務 委	借入金の 返済	170,000											
							託先債務保	借入金利 息の支払	1,444	-	-									
							証	銀行借入 の債務保	300,000	-	-									
								証 支払家賃 の債務保	10 160											
								証(月額)	12,168	-	-									
							配当金の 受取	100,000	-	-										
				文具事務用 機器の製 造・販売				借入金の 返済	80,000	短期借入	220,000									
					機器の製	機器の製	機器の製	機器の製			事 業 質 金 の 借 入先		3,646	-	-					
子会社	サンノート (株)	ト 大阪府 富田林市	40,000						機器の製	100	-	ᄩᇴᇴᆉᇚ	当社の銀行借入金に対		-	-				
										担 保 の 被提供	する債務被保証(注5)									
										当社の銀 行借入金 に対する	909,840	_	_							
																		担保提供(注5)		
								当社の銀行 借入金に対												
	(株)マイツ・	栃木県		事務用機器			債 務 被	する債務被 保証(注5)	8,750,000	-	-									
子会社	コーポレー ション	宇都宮市	20,000	の製造・販 売	100	兼務1名	保証 担 保 の 被提供	当社の銀 行借入金												
								に対する 担保提供	106,880	-	-									
							会 社 清	(注5) 清算配当	60,150											
子会社	(有)リッチ	大阪府 吹田市	9,000	一般日用雑 貨の販売	100	-	算 に 係 る 資 本	金の受取 出資金返 還による	36,000	未収入金	2,120									
							取引銀 行借	退による	·											
子会社	SIATI SRL	イタリア ミラノ市	3,923 (31千1 - 日)	不動産業	間接 70	兼務1名	越 行 信 入 の 債 務保証	保証債務	1,355,100 (10,000千 ューロ)	-	-									
	<u> </u>		<u> </u>]		<u> </u>	当と下田	<u> </u>	- H)	l	l									

(注)1. 業務支援に基づく手数料は、負担コストを勘案して一般取引条件と同様に決定しております。

- 2. 資金の貸付については、借入利率の市場金利を勘案して合理的に決定しております。なお、担保の提供は受けておりま
- 3. 資金の借入については、借入利率の市場金利を勘案して合理的に決定しております。なお、担保は提供しておりません。
- 4. 平成20年12月26日契約の金銭消費貸借契約書に基づき、当社の銀行借入金に対する子会社等の担保の提供の内容は、以 下のとおりであります。

(単位:千円)

担保提供会社	担保提供資産の内容	 等容	担保資産に対応する	る債務の期末残高
ゼネラルサプライ(株)	売掛金	1,667,196		
	受取手形	395,501		
	建物	427,250		
	土地	870,812		
	合計	3,360,759		
ゼネラルテクノロジー(株)	売掛金	3,094,006		
	受取手形	549,932	<i>k</i> =#0#+ \ ∧	0.000.000
	建物	942,183	短期借入金	6,000,000
	構築物	16,465	1 年以中海这名	E00, 000
	機械装置	249,862	1 年以内返済予 定の長期借入金	500,000
	工具器具備品	3,642	足の技期旧八並	
	土地	688,763	長期借入金	2,250,000
	合計	5,544,856	区初间八亚	2,230,000
サンノート(株)	売掛金	510,220		
	受取手形	399,619		
	合計	909,840		
㈱マイツ・コーポレーション	売掛金	28,534		
	受取手形	78,345		
	合計	106,880		

5. 取引金額は市場価格によっており、消費税等は含んでおりません。

1株当たり情報の注記

1. 1株当たり純資産額 492,240円81銭

2. 1株当たり当期純利益

17,620円39銭

重要な後発事象の注記

子会社株式の一部売却

当社は、連結子会社であるゼネラルテクノロジー株式会社の株式の一部を平成21年11月1日付けで連結子会社であるゼネラルサプライ株式会社(平成21年11月1日付けでゼネラル株式会社に商号変更しております。)に譲渡しております。

ゼネラルテクノロジー株式会社はOA関連商品の製造販売業を営む連結子会社で、当社との主な取引は、経営指導に基づく業務受託と事業用資金の貸付となっております。

当該株式の売却の目的は、OA関連商品の販売をゼネラルサプライ株式会社に集中し、マーケットに即した積極的な商品立案を行う体制を築くこと、また製造開発をゼネラルテクノロジー株式会社に集中し、各社の機能を更に明確にすることにより、事業価値を一層拡大することであります。

売却した株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率は以下のとおりであります。

売却株式数: 6,500株

売却価額: 3,487,029千円

売却損益: 479,583千円(税引前)

売却後の持分比率:35.0%

企業結合に関する注記

(共通支配下の取引等)

1 . 結合当事企業及びその事業の内容、企業結合の法的形式、結合後企業 の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1)結合当事企業及びその事業の内容

結合企業(当社)

商号	事業の内容	
ゼネラル株式会社(当該企	子会社の事業活動の支配、	管理
業結合と同時にゼネラルホ		
ールディングス株式会社に		
商号変更)		

被結合企業 (親会社)

商号	事業の内容
株式会社ゼネラルホールデ	ゼネラル株式会社の株式取得
ィングス	

- (2)企業結合の法的形式 共通支配下における取引
- (3)結合後企業の名称 ゼネラルホールディングス株式会社
- (4)取引の目的を含む取引の概要

親会社は、当社のマネジメント・バイ・アウトを目的として前事業年度(平成20年9月4日から平成20年10月20日まで)公開買付けを行いました。当社のマネジメント・バイ・アウトの一環としてゼネラル株式会社を存続会社とする吸収合併を実施いたしました。合併の効力発生日は平成21年5月1日であります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会 平成15年10月31日) 及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」 (企業会計基準適用指針第10号 最終改正平成19年11月15日)に基づ き、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

これによる損益への影響額は、ありません。